

## 引留クランプカバー 概略仕様書

### 1. 適用範囲

この規格は高圧架空電線路の引留クランプ（銅線用・アルミ線用）に、かぶせて使用する引留クランプカバー（以下、「カバー」という）について適用する。

### 2. 種類

カバーの種類は下表のとおりとする。

種類		適用クランプ	
銅線用	大	銅線用	60・100・150
アルミ線用	大	アルミ線用	95
	小	アルミ線用	58

### 3. 材料

カバーの材料はポリエチレン混合物でなければならない。ただし、当社が指定するリサイクル材（リペレット）を使用することができる。この場合は、バージン材の配合比率を50%以上とすること。

### 4. 構造一般

カバーの構造は次の各項に適合しなければならない。

- (1) 既設の引留クランプに間接活線工法により容易かつ確実に取付けられる構造であること。
- (2) 引留クランプの各部構造を全面的におおい、且つできるだけ密着せしめる構造であること。
- (3) きず、さけめ、その他の欠点がなく、適度の柔軟性および強靭性を有し、日時の経過による変質が少ないこと。
- (4) 引留クランプ全体を露出部分なくして覆うものであること。
- (5) カバーのジャンパー線引出し個所は、既設の引留クランプに対応した大きさの開口部を持ち、その開口部には、外部からの鳥獣等の侵入を妨げ、間接活線工法工具による開閉を可能とする覆いを設けること。
- (6) カバーは、完全開放時には180度開放し、重ね積みが可能であること。

### 5. 性能

#### (1) 耐電圧試験

カバーを使用状態に取付、外面にはアルミ箔等を貼り、線心とアルミ箔との間に15,000V1分間加えて、これに耐えなければならない。

#### (2) 常温引張試験

厚さ(2mm)または厚さ(2.5mm)のダンベルを作り、20mmの間隔で2つの標点をつけ常温(20℃)で試験を行った時の引張強さおよび伸びを測定する。このとき引張強さは10MPa以上、伸びは350%以上とする。

#### (3) 加熱後引張試験

(2)で製作した物と同様なダンベル3号型試験片を90℃の恒温槽中に垂直に吊るし、96時間加熱した後試料を取り出して12~48時間放置し、(2)の試験と同様な方法で引張および伸びを測定し、引張強さは加熱前の80%以上、伸びは65%以上でなければならない。

#### (4) 耐寒性試験

長さ40mm、巾6mm、厚さ2.0mmの試験片を作り試験液は液状であつて試験片に影響を与えない伝熱媒体(例えばエチルアルコール)をあらかじめ試験機の中に入れ、ドライアイスを加えて-20℃とし、ツカミ具にとりつけ、5分間伝熱媒体に浸した後、打撃を(1.97±0.15m/s)を加えたとき破壊してはならない。

#### (5) 耐候性試験

厚さ2mm、巾5mm、標点間隔10mm、の特殊ダンベルを製作し、ウェザーメーター2,000時間処理による引張強さは常温の80%以上、伸び65%以上でなければならない。

### 6. 表示

カバーおよび荷造りには見易い個所に容易に消えない方法で次の事項を表示しなければならない。

- a. 種類(銅線用, アルミ線用, 大, 小別)
- b. 製造者名または略称
- c. 製造年

以上